

平成26年10月9日

各位

会社名 株式会社日本色材工業研究所
 代表者名 代表取締役社長 奥村 浩士
 (JASDAQ コード番号:4920)
 問合せ先 常務取締役経営統括本部長 土谷 康彦
 (TEL. 03-3456-0561)

「平成27年2月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異」、および
 「平成27年2月期通期業績予想および配当予想の修正」に関するお知らせ

平成26年4月17日に公表いたしました平成27年2月期第2四半期累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年2月期通期業績予想および配当予想の修正をいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年2月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異
 （平成26年3月1日～平成26年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,954	3	△24	△22	△5.16
実績値 (B)	3,665	△112	△144	△132	△30.63
増減額 (B - A)	△289	△115	△119	△109	
増減率 (%)	△7.3	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年2月期第2四半期)	3,517	66	51	24	5.57

2. 平成27年2月期通期連結業績予想の修正
 （平成26年3月1日～平成27年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,097	128	71	37	8.68
今回修正予想 (B)	7,356	△212	△270	△292	△67.79
増減額 (B - A)	△741	△341	△342	△329	
増減率 (%)	△9.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	7,302	146	116	89	20.74

3. 平成27年2月期第2四半期（累計）個別業績予想と実績値との差異
（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,382	15	5	1.27
実績値（B）	3,184	△38	△36	△8.44
増減額（B－A）	△197	△54	△41	
増減率（%）	△5.8	－	－	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成26年2月期第2四半期）	2,977	108	77	18.05

4. 平成27年2月期通期個別業績予想の修正
（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,867	128	71	16.57
今回修正予想（B）	6,106	△206	△255	△59.35
増減額（B－A）	△761	△334	△327	
増減率（%）	△11.1	－	－	
（ご参考）前期実績 （平成26年2月期）	6,107	148	98	22.88

5. 平成27年2月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じた理由

平成27年2月期第2四半期累計期間の個別業績は、売上高は、国内顧客からの受注が順調に伸びたことにより、前期第2四半期実績を上回り増収となりましたが、海外の顧客からの受注が見込みを下回ったことから前回発表予想を下回りました。一方で、新設のつくば工場および品質管理強化等に伴う経費増により、経常利益、四半期純利益についても前回発表予想を下回り、それぞれ損失を計上する結果となりました。

また、平成27年2月期第2四半期累計期間の連結業績は、上記個別業績に加え、連結子会社であるTHEPENIER PHARMA INDUSTRIE S. A. S.（以下、テプニエという）において、メイク製品の受注が不振であったこと、生産設備等のトラブルを原因とした減産等により、減収・減益となったことから、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前回予想を下回る結果となりました。

6. 平成27年2月期の通期業績予想の修正の理由

平成27年2月期の通期の個別業績は、売上高については、下半期についても海外の顧客からの受注が計画を下回る見込みであること等から前回発表予想を修正いたします。また、引き続きつくば工場の費用負担に加え、海外の品質管理基準に対応するための品質管理強化に関する経費支出が増加する見込みであることから、経常利益、当期純利益につきましても下方修正することといたしました。

また、平成27年2月期の通期の連結業績は、テプニエにおいて、主力の医薬品の受注が好調に推移する見込みですが、前述の当社の個別業績の影響により、営業利益・経常利益・当期純利益いずれも前回予想から下方修正することといたします。

なお、平成26年10月1日に公表しました当社子会社に対する訴訟の判決の影響に関しましては、本業績予想には反映されておりません。業績予想への影響が明らかになった場合には速やかに公表いたします。

7. 配当予想の修正について

なお、期末配当金につきましては、通期の業績予想を修正したことにより、現時点では「未定」（前回予想額は、平成26年4月17日に公表しました1株当たり10円）とし、下半期および次期の業績動向を総合的に勘案したうえで改めて公表いたします。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上